

認知症の人にも やさしいデザイン

福岡100
人生100年時代への
チャレンジ

福岡市では、認知症の人がストレスなく安心して暮らせる住環境を整備するため「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」を策定しました。この手引きは、認知症の人を含む多くの方が、より過ごしやすい環境を整えるための30のポイントをまとめたものです。

この説明会では、この手引きに定めるデザインの基本的な考え方から建物へ導入する際のポイントやスケジュール例までわかりやすく説明します。

福岡市 オンライン 説明会

開始日時

11月25日(水) 14時~15時30分

オンラインにて開催 (参加無料)

定員

300名 (福岡市民または福岡市に通勤・通学されている方を優先いたします。定員に達し次第締め切らせていただきます。)

参加方法

右のQRコードもしくは下記のURLから申込みいただけます。(zoomでの配信を予定しています。)



参加申し込みURL:

<https://fukuoka-design.peatix.com>

参加される方は、事前に手引きをお手元にご準備ください。お手元にない方は、下記のQRコードからダウンロードできます。

プログラム

14:00 開会のご挨拶
福岡市

14:05 プレゼンテーション
「認知症の人にもやさしいデザインと導入のヒント」
参加申し込み時に皆さまからいただいた質問にも回答いたします。

株式会社メディヴァ 木内大介

15:20 閉会のご挨拶
福岡市

主催

福岡市

問い合わせ

株式会社メディヴァ (事務局)

デザインを通して認知症の方が幸せに暮らせる社会づくりを支援します。
メール: ukjapan.seminar@mediva.co.jp

演者紹介



株式会社メディヴァ
シニア・コンサルタント
木内大介

京都大学卒。英国ロバート・ゴードン大学大学院理学療法科修士課程修了。英国の病院、GPクリニック、在宅リハなどで理学療法士として10年間勤務。患者視点の医療、多職種連携、エビデンスに基づく医療の大切さを学ぶ。メディヴァに参画後、国内では在宅医療、外来、訪看ステーションの運営支援、看多機開設支援、認知症デザイン導入支援を担当。2015年から英国スターリング大学認知症サービス開発センター

(DSDC) と協力して、高齢者住居や介護施設への認知症に優しいデザインの導入支援や自治体の認知症デザイン手引き作成支援を行ってきた。病院や介護施設、住宅、商業施設、公共施設などの建物への認知症デザイン導入、商品やサービスへの認知症デザイン導入、認知症デザイン研修プログラム実施、認知症デザイン啓発などの支援を行なっている。

